

【東進進学情報 vol.531】2027 年度大学入試スケジュール、

主要大学入試変更点②(私立大学)

27 年入試 私立大の主要変更点まとめ

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市、代表取締役会長 CEO 永瀬昭幸、代表取締役社長 COO 渋川哲矢)は、独自の入試分析や最新の大学・入試情報をまとめた「東進進学情報」を月2回発行しています。東進生はもちろん、高校の先生など進路指導に携わる皆様にタイムリーにお届けいたします。

2026 年 10 月 2 日号・vol.531 は「2027 年度大学入試スケジュール、主要大学入試変更点②(私立大学)」。前号の国公立大学に続き、私立大学の入試スケジュールや入試変更点を整理しました。

【今号のピックアップ】

私立大学、2027 年入試の主要変更点

慶應経済で小論文休止、中央大スポーツ情報学部新設など

今回の特集では、2027 年度大学入試のスケジュールと主要私立大学の主な入試変更点を紹介する。一般選抜(10 大学)、特別選抜(13 大学)、英語民間試験利用例(12 大学)の3つの表に分けてまとめて掲載した。

例えば、慶應義塾大は経済学部的一般選抜で小論文を休止し、数学(A方式)と地理歴史(B方式)の試験時間・配点を拡大する。新設は、上智大理工学部のデジタルグリーンテクノロジー学科(50名)、青山学院大の統計データサイエンス学環(60名)、中央大のスポーツ情報学部(295名)などがある。郊外から都市部・主要駅近くへ移転する「都市回帰」の動きも続いている。

各大学でさまざまな変更が発表されており、同じ大学内でも学部ごと・受験方式ごとに、出願の条件や受験科目は異なる。チャンスを増やすためにも、志望校の変更点や入試方式の最新情報を確認しておきたい。

[illegible]

【今号のサマリー】

①2027 年度大学入試スケジュール

- ・総合型選抜:2026 年 9 月 1 日(火)から出願受付開始
 - ・学校推薦型選抜:2026 年 11 月 1 日(日)出願受付開始
 - ・共通テストを利用する場合、本試験は 2027 年 1 月 16 日(土)・17 日(日)
追試験は 1 月 23 日(土)・24 日(日)
- 追試験の試験場は、原則として全国を 2 地区に分け、地区ごとに設定される

・私立大学：一般選抜は大まかに「2 月入試」と「3 月入試」に分けられるが、メインは「2 月入試」

②キャンパス移転の動き

- ・郊外から都市部・主要駅近くへ移転する「都市回帰」の流れが継続
- ・2027 年度は藤女子大学、ぐんま未来大学(旧・桐生)、帝京平成大学、昭和医科大学、日本福祉大学、関西看護医療大学が移転・新設を予定

③2027 年度主要私立大学の主な入試変更点

- ・早稲田大学：政治経済学部的一般選抜(共通テスト)で、外国語を「英語」のみに変更
- ・慶應義塾大学：経済学部的一般選抜で小論文を休止し、数学(A 方式)と地理歴史(B 方式)の試験時間・配点を拡大。総合政策学部・環境情報学部は外国語の出題範囲を「英語」のみに変更
- ・上智大学：理工学部にてデジタルグリーンテクノロジー学科を新設(50 名)
- ・青山学院大学：統計データサイエンス学環を新設(60 名)
- ・中央大学：スポーツ情報学部を新設(295 名)。経済学部を経済学科・社会経済学科に再編
- ・関西大学：共通テスト利用入試(前期)で 13 学部に 8 科目型を追加
- ・立命館大学：理工学部機械工学科をコース別募集(機械創成工学コース・機械情報工学コース)に変更し、同一試験日同一学部内の 2 コース併願制度を新設

【東進進学情報をご覧くださいには】

- ・東進生の方…通っている校舎のホームルームや説明会、チームミーティング、掲示などで紹介しています。詳しく知りたい情報があれば、校舎の先生に聞いてください。
- ・高校の先生方…貴校の東進担当者にお問い合わせください。最新号および必要な情報が掲載された号をお届けいたします。東進担当者が不明な場合は、東進高校事業本部(0120-312-104)までお電話ください。

【株式会社ナガセについて】

1976 年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新の AI 学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学 NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ 53 名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当：市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL: 0422-44-9001 Mail: pub@toshin.com